

2021 年度 日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

2021 年 5 月 13 日（木），14 日（金）

Zoom によるオンライン開催

- 5 月 13 日（木） 9:40～9:50 開会の挨拶
9:50～10:50 一般講演『臨床試験・臨床研究（1）』
11:00～12:00 特別講演（2020 年度学会賞受賞者講演）
12:00～13:00 ポスターセッション
13:00～14:00 日本計量生物学会総会・学会賞授与式
14:00～16:00 特別セッション
『機械学習への招待 統計的機械学習と深層学習』
16:10～17:30 一般講演『疫学』
- 5 月 14 日（金） 9:00～10:00 一般講演『医薬品・医療機器評価』
10:10～11:10 一般講演『判別予測解析・モデリング』
11:20～12:20 一般講演『臨床試験・臨床研究（2）』
12:20～12:30 若手賞表彰

年会参加費：正会員 2,000 円，応用統計学会員 2,000 円，非会員 4,000 円，
学生（正会員，非会員とも）1,000 円

2021 年度

日本計量生物学会年会プログラム

5月13日(木) 9:40~17:30, 14日(金) 9:00~12:30

Zoomによるオンライン開催

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

年会参加費：正会員 2,000円, 応用統計学会員 2,000円, 非会員 4,000円,
学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

チュートリアルセミナー

主催：日本計量生物学会, 応用統計学会

日時：5月14日(金) 13:30~16:30

会場：Zoomによるオンライン開催

テーマ：因果探索

オーガナイザー：清水 昌平

(滋賀大学データサイエンス学系, 理化学研究所革新知能統合研究センター)

講師・内容

1. 清水 昌平 (滋賀大学データサイエンス学系, 理化学研究所革新知能統合研究センター) :
統計的因果探索の基礎
2. 前田 高志ニコラス (理化学研究所革新知能統合研究センター) :
未観測共通原因が存在するときの因果グラフ推定
3. 井元 佑介 (京都大学高等研究院) :
LiNGAMモデルに基づく遺伝子制御ネットワーク推定

参加費：正会員 2,000円, 非会員 4,000円, 学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

日本計量生物学会年会

5月13日(木)

9:20 Zoom入室開始

9:40~9:50 開会の挨拶 日本計量生物学会長 松井 茂之

9:50~10:50 一般講演『臨床試験・臨床研究(1)』 座長 山本 英晴(中外製薬株式会社)
効果発現に遅延のある生存時間データにおける治癒割合の推定方法の検討
佐野 由佳, 土居 正明, 佐藤 俊哉(京都大学)

がん第1相試験における2剤併用療法のInterval designの改良
太田 愛作(第一三共株式会社), 矢田 真城(京都大学),
安藤 宗司, 寒水 孝司(東京理科大学)

On the verifiable identification condition in NMAR missing data analysis
別府 健治, 森川 耕輔(大阪大学)

10:50~11:00 休憩

11:00~12:00 特別講演(2020年度学会賞受賞者講演)
座長 松井 茂之(名古屋大学・統計数理研究所)
『因果推論とEstimand』
松山 裕(東京大学)

12:00~13:00 ポスターセッション/休憩

[P1] 国際共同試験における外れ値となる地域の検出と影響力の評価
青木 誠(ノバルティス ファーマ株式会社), 野間 久史(統計数理研究所),
五所 正彦(筑波大学)

[P2] パイロット研究における対象者数設計の α と $1-\beta$ の設定方法
萩原文, 大森 崇(神戸大学)

13:00~14:00 日本計量生物学会総会・学会賞授与式

14:00~16:00 特別セッション：機械学習への招待 統計的機械学習と深層学習
オーガナイザー・座長：川口 淳（佐賀大学），二宮 嘉之（統計数理研究所），
松井 孝太（名古屋大学）

○ 招待講演：深層学習技術の医療への応用
浜本 隆二（国立がん研究センター研究所）
招待講演座長：松井 茂之（名古屋大学・統計数理研究所）

○ ニューラルネットによる統計的機械学習入門
松井 孝太（名古屋大学）

○ 機械学習における“説明”
原 聡（大阪大学）

16:00~16:10 休憩

16:10~17:30 一般講演『疫学』 座長 伊藤 陽一（北海道大学病院）
非曝露を対照とした薬剤疫学における自己対照研究手法の活用
横山 涼，竹内 由則，隈丸 拓，松山 裕（東京大学）

Balancing weights を用いた推定量にバイアスをもたらす共変量インバランスの検討
堀江 悠生，篠崎 智大（東京理科大学）

少数イベントデータにおける因果オッズ比推定手法としての罰則付き推定法と傾向スコア調整法の比較
橋部 創太郎（東京理科大学），本江 渡（ノバルティスファーマ株式会社），
篠崎 智大（東京理科大学）

1:k 傾向スコアマッチングに対応した matching weight の性能評価
板橋 秀晃，篠崎 智大（東京理科大学）

5月14日（金）

8:40 Zoom 入室開始

9:00~10:00 一般講演『医薬品・医療機器評価』 座長 土居 正明（京都大学大学院）
単群試験における治療効果に与えるバイアスの影響を軽減する試験デザインの提案
佐藤 倫治，三宅 顕光，山田 知美，飛田 英祐（大阪大学）

既存試験データを用いた horseshoe prior に基づく二値応答の群間比較法
大東 智洋，丸尾 和司（筑波大学），寒水 孝司（東京理科大学），五所 正彦（筑波大学）

薬物相互作用評価のための類薬の情報を利用したシグナル検出法の提案

多田 圭佑 (サノフィ株式会社、筑波大学), 丸尾 和司, 五所 正彦 (筑波大学)

10:00~10:10 休憩

10:10~11:10 一般講演『判別予測解析・モデリング』 座長 横田 勲 (北海道大学大学院)

A new integrated discriminant improvement index via odds

林 賢一 (慶應義塾大学), 江口 真透 (統計数理研究所)

Cox 比例ハザードモデルにおける未観測共変量への対処法の提案

折原 隼一郎, 田栗 正隆 (横浜市立大学)

多変量臨床予測モデルにおけるリサンプリング法に基づく内的検証法の評価研究

伊庭 克拓 (総合研究大学院大学), 篠崎 智大 (東京理科大学), 丸尾 和司 (筑波大学),
野間 久史 (統計数理研究所)

11:10~11:20 休憩

11:20~12:20 一般講演『臨床試験・臨床研究(2)』 座長 大庭 幸治 (東京大学大学院)

がん免疫臨床試験における Asymptotic relative efficiency を用いた Fleming-Harrington 検定の
遅延した治療効果の検出のパラメータの設定

金子 裕一郎, 森田 智視 (京都大学)

COVID-19 の日罹患者数に基づく感染抑制の統計解析

熊澤 蕃 (元 日本原子力研究所)

層別因子を含むシグモイド曲線の同時推定 —カドミウムガス曝露年数が肺活量の低減量の推定—

高橋 行雄 (BioStat 研究所株式会社)

12:20~12:30 若手賞表彰

12:30 閉会